

すがもらいぶらり

2021年2月5日巣鴨図書館発行

2月のイベント

「すがも自然絵巻」誕生秘話

今月号の表紙を飾った「すがも自然絵巻」が誕生するまでのお話を少し…

2020年の図書館（世の中）は、「人と人が近づかないこと」を最優先にしなければいけない日々が続きました。そんな状況下で、皆の気持ちがつながるようなワークショップをしたいという願いの下、絵本作家の齋藤槇先生と、企画したのが、この「すがも自然絵巻」です。

12月最後の日曜日に実施した説明会にご参加いただいたのは、2歳から56歳までの方々。自然を題材にした絵を半紙に書いていただき、新年に皆さんで作品をつなげ、絵巻物に仕上げる予定でした。

が、そこに来て2度目の「緊急事態宣言」…

残念なことに、集まってつなぐことはできなかったのですが、齋藤槇先生と図書館スタッフでつなげました。

予約はいりません！ おみくじしおくりプレゼント付

巣鴨図書館の司書が選ぶ

春のこどもの本

おたのしみセット

1月30日(土)～2月7日(日)

図書館でゆっくり本をさがすことができず、今、子どもたちに読書を楽しんでもらえるように、「春のこどもの本おたのしみセット」の買出を行います。

☆ひとり2セットまでかかります。

☆1セットは3さつです。

☆ご希望の方はカウンターで、年齢・学年をおしらせください。

①0～1歳	②2～3歳	③4～6歳
④1・2年生	⑤3・4年生	⑥5・6年生

問い合わせ：巣鴨区立巣鴨図書館 電話 03-3910-3608

あと数日で終わってしまいます！
おみくじしおくりで
大吉ひいたあなたには、
きっと良いことが(*^^*)

編集後記

「絆」・「つなぐ」という言葉の重さを感じる今日この頃…
「すがも自然絵巻」で味わった気持ちはかけがえのないものでした。
齋藤槇先生と参加者の方々に、深く深く感謝です！(M)



昨年末、齋藤槇先生をお招きして実施したワークショップ（すがも自然絵巻）にご参加いただいた方々の作品が素敵な絵巻物になりました。力作揃いです！
2月25日まで展示していますので、是非見にいらしてください。

冬本番を迎えています。今年の冬は例年に比べ寒い日が多いように感じられます。北陸では寒波による大雪の影響で数百台の車が立ち往生するなどの報道もありました。寒さの原因は、寒波の影響だけではありません。館内では来館される方々に気持ち良くご利用いただくために暖房を使用しておりますが、今年は「換気」にも注意しなければなりません。「防寒」と「換気」をいかに両立させるか。コートやマフラーを身に着けたまま背中を丸めて本を閲覧されているご利用者様の姿を見かけるたびに大変心苦しく感じております。

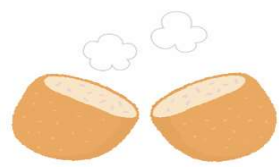
(館長)



せっかく始まったおはなし会がまた中止になって寂しいです。
再開の日を楽しみにするしかないですね…

イラスト作 S

じぞうくんの食レポリレー



巣鴨図書館で働く人の食事情を本と絡めながら語り、リレー方式で紹介していくコーナーです。

<コロッケ>

みなさんはコロッケ好きですか？そう、あのこげ茶色で小判型で（ときどき俵型ですね）揚げたてアツアツのコロッケです。馬場のぼるさんの楽しい絵本『11ぴきのねこ』シリーズの1冊『11ぴきのねことあほうどり』は、仲良しのねこたちがコロッケやさんを開いて売れ残ったコロッケを毎日食べ続けた末に、もうコロッケなんて見るのも嫌になってしまい…というお話です。初めてこの絵本を読んだ時、何て素敵なお話なんだろうと憧れの気持ちでいっぱいになったことを正直に告白します。

今から数十年前、朝も暗いうちから夜遅くまで日がな一日コロッケを揚げる仕事をしていたころ、私もあのねこたちと同様に売れ残ったコロッケを毎日食べ続けた結果体重が飛躍的に増加したことは否定しませんが、何故かコロッケを嫌いにはなりません。十円玉(百円ではなく本当に十円玉です)を握りしめて近所の肉屋さんへ走った小学生は、現在に至るまで庶民派のコロッケが大好きです。

フォークとナイフでいただくレストランのコロッケも勿論好きですが、私にとってコロッケとは11ぴきのねこ同様、あの懐かしい肉屋さんの味なのです。あほうどりになりたいと思った私をあなたは笑うでしょうか？

(H.N.)

テーマに合わせた
図書館蔵書を
ご紹介

お役立ち本

『11ぴきのねことあほうどり』
こぐま社 (EM)

『鴨川食堂いつもの』小学館
(小学館文庫) (B)

じぞうくんのそばくな疑問



初めまして、ぼくはじぞう。
心にうつりゆく
ちょっとした疑問を
ここでつぶやいていくよ。

かっば

本や図書館にくわしいじぞうくんの噂を聞いて、近くに引っ越してきたかっばくんがやってきました。じぞうくんに何か相談があるみたいですよ。

かっば はじめまして。ぼく、かっばです。今年は本をたくさん読むという目標を立てたものの、何を読んでいいかわからないんです。何か面白い本、紹介してくれませんか？

じぞう はじめまして、よろしくね。面白い本…難しいなあ。好きなジャンルやどんな本が読みたいか教えてくれるかな？

かっば ぼく、これまであんまり本を読んでないんです。だからあんまり難しくない本がいいな。あと、ぼく食べることが大好きだから、美味しいものが出てくるとうれしいです。

じぞう なるほど…それなら近藤史恵さんの『タルト・タタンの夢』なんてどうかな？下町の小さなフレンチレストランが舞台なんですけど、お客さんが巻き込まれた事件や謎を、無口で個性的な三舟シェフが解いていくお話だよ。連作短編だから読みやすいし、料理もすごくおいしそうなんだ。他に同じような軽いミステリーで、坂本司さんの『和菓子のアン』という本もすごく面白くておすすめだよ。ちなみに舞台はデパ地下の和菓子屋さんだよ。…でも今、予約がたくさん入ってるね。

かっば フランス料理に和菓子かぁ。どっちも美味しそう。さっそく読んでみます。どうもありがとうございました！

じぞうくんが読んだ本はこちら

- ①『タルト・タタンの夢』近藤史恵／著
東京創元社 (Bコ)
- ②『和菓子のアン』坂本司／著
光文社 (Bコ)

じぞうさんぽ

<駅前商店街に伝説の巨人を見た>

2016年3月某日、昼過ぎ。JR新神戸駅から、地下鉄西神・山手線で12分、新長田駅に到着。名物『そばめし』発祥の店で昼食後、徒歩で隣の駒ヶ林駅へ。目指すは『KOBE三国志ガーデン』（残念ながらこの年の5月に閉館）。実はこの界隈、謳い文句が「鉄人と三国志に出会える街」。神戸市出身の漫画家、横山光輝氏ゆかりの地なのだ。1960年から晩年の2004年まで豊島区千早在住だった横山先生。区民としても、三国志ファンの端くれとしても、一度は来たかった場所だ。早速、駅前ビル2階の『三国志ガーデン』へ。この目玉は、世界最大級の三国志ジオラマ。13×2.6mの大地の上に、約2000体のフィギュアが150以上の様々な名場面を演じている。その他、関羽の偃月刀（見た目・重量とも実物大）や映画の衣装・小道具、横山版の資料等、見ごたえ充分。商店街にもギャラリーや登場人物の石像等があり、町中が三国志で盛り上がっていた。

商店街を歩いて新長田駅まで戻る。アーケードの突き当りから広場に出ると、異様な光景が広がっていた。鉄人28号がいる。でかい。とにかくでかい。資料によると、身長18m。大きく足を開いてポーズを取っているの、全高は15.3mだ。原作・アニメをリアルに再現した安定感のあるプロポーションが実にかっこいい。ひとけの無いのを幸い、嬉々として触りまくる（巨大すぎて脛の端までしか手が届かないが）、写真を撮りまくる私。SF魂溢れる、素晴らしいモニュメントだった。

(A)

旅のお供に
おすすめの
図書館
蔵書をご紹介

ともぼん お供本

『生誕80周年記念横山光輝』豊島区
(KO 726)

『全国お元気商店街百選』 明治書院
(672 才)